

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣工業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年11月5日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 協議会会場 大垣工業高等学校 本館1階 会議室  
 授業参観  
 機械科棟2階 旋盤実習 機械工学科2年(2年1・2組)  
 家庭科棟2階 CNC実習 機械工学科2年(2年1・2組)  
 装置紹介  
 機械科棟3階 CNC加工室 マシニングセンタ  
 家庭科棟2階 電子機械工学科MPS(モジュール・プロダクションシステム)
- 4 参加者 会長 小塚 生開 共立紡機株式会社 代表取締役  
 副会長 篠田 和也 育友会会長  
 委員 松原 学士 イビデン株式会社執行役員 経営企画本部人事部長  
 人事企画グループ 採用担当マネージャー  
 竹中 拓也 太平洋工業株式会社  
 コーポレート企画センター人事部 主査  
 長瀬 ちえ子 大垣夢ある女性の会 事務部長  
 片桐 実智 地域代表(欠席)  
 松崎 美枝子 育友会3年学年代表(欠席)  
 吉田 秀慈 大垣市立西中学校 校長  
 中野 たみ子 NPOひまわりの花 理事長
- 学校側 桐山 明宏 校長  
 藤原 竹志 副校長  
 樋口 高広 教頭  
 安部 博貴 教頭

## 5 会議の概要(協議事項)

- (1) 令和6年度 生徒と保護者アンケートの集計結果についての報告(全日制、定時制)  
 (2) 後期のキー・アクションについて(全日制、定時制)

今年度得られたアンケートの結果より、年度内の教育活動の修正について説明。

意見1:アンケート質問文を改善したいとあるが、どのような意図か。また一部の生徒が「有り」と回答しているが学校としてどうとらえているか。

⇒ 今回、質問文をシンプルにすることや、項目を減らすことを検討して調査を行ったが、ハラスメントという言葉を利用したために広い意味でとらえられ数値がやや多く出てしまったと考えている。次回の調査では質問の文言を変え、教員の発言なのかクラスメイトの発言のかなど原因を特定できるように改善するという意図である。なお、体罰・セクハラ調査を10月に行ったが生

徒からの申出は無い状況である。

- 意見 2 : 学校の様々な対応は間違っていないと思われることが、アンケートの結果に表れていると思う。生徒間での見えにくい部分について、そのフォローなどに重点を置いて対応してもらえると良い。
- 意見 3 : 肯定的な回答が 20%ほど増え、わからないという回答が半減している。アンケート結果から学校がとても良くなっているように見えるのだが、学校の改善が生きてきたのか、またそれとは別でアンケートの取り方などに変化があったのか。
- ⇒ 生徒、保護者ともに回答率がかなり向上している。担任の先生から生徒に協力を呼びかけ、回答数が伸びたことで、より正確な情報が得られたと思われる。いろいろな事を丁寧に行ってきた結果、コロナの影響が収まったのかなど、複数の理由も考えられるが、その点は明確ではない。
- 意見 4 : 生徒自身がいじめを受けた、あるいはイヤな思いをした、悩み事があるかなどの調査はしているか。
- ⇒ 今回のアンケートとは別に、年 3 回のいじめ迷惑調査を実施しており、その都度対応している。また発見した事案については、解消できるまでの見守り期間なども設定し長期的に対応している。
- 意見 5 : 校内を歩いたとき、多くの生徒から気持ちの良い挨拶を受けた。地域の方に挨拶しているかなど、主体的に行動しているかといった調査項目はないか。
- ⇒ 以前は生徒が生徒を自ら評価する項目があったが、現在はその項目が削除されている。生徒の学びに関しては自身の授業に対する姿勢を見つめなおすアンケートは実施している。
- ⇒ 自己肯定感が育つことが大切。挨拶などの様子では、自ら発している様子がよく伝わってきたので、継続して育てていけると良い。
- 意見 6 : アンケートを定期的に行うことは良い事である。ハラスメント関係では、経過時間が長くなると打つ手が限られてくる。本アンケートを含め種々のアンケートをこれまでのように実施願いたい。生徒が真に困った時に直に相談できる仕組みなどはあるのか。
- ⇒ いじめ迷惑調査は年 3 回行い困り感を確認している。また、学校に申し出にくい場合には県の窓口へ直接伝えられるような仕組みもあり、調査時にそのことも案内している。
- 意見 7 : 社会人になると、規律に沿った正しい生活が送れるようにならなければならない。これまでも生活規律について指導されていると思うが、社会人になると更に高次元で求められることを伝えてほしい。
- ⇒ このことを含め、引き続き、生徒に伝えていく。
- 意見 8 : 自分に言われてはいないのに「自分が言われた」と感じる場合がある。そのような生徒は、それをいじめと感じてしまう場合があるので、そのような生徒については学校として気をつけてほしい。
- ⇒ そのようなケースがこれまでもあったため、今後も気をつけていく。
- 意見 9 : 生徒はハラスメントの種類について認識できているか。ハラスメントといじめは異なるが、そのようなものを混同している可能性はないか。
- ⇒ 指導とハラスメントの区別ができない生徒もいるため、ハラスメントという言葉を使わずに調査できないか文言を検討している。それとともに、指導とハラスメントが区別できるような教育のあり方を追求する。
- 意見 10 : HP など情報開示について、活動結果を掲載することが多いが、今後の活動予定など事前の案内を発信することが少ないと感じる。
- ⇒ 情報発信の内容、頻度など、重要度を含めて今後も検討して発信を推進する。

意見 1 1 : HPによる情報発信については、届く範囲は限られている。多くの保護者はメールを受信し、その内容からHPを確認することが多いと思われる。それぞれの属性に応じてメールを送れると良い。

⇒ メールを送る中に、HPの更新案内などを付記するなど工夫する。

(3) スクールミッションについて (全日制、定時制)

スクールミッション策定のスケジュールを確認。第1回学校運営協議会で出てきたキーワードをふまえた本校のスクールミッションについての案を説明。

⇒ 全日制および定時制の各案について、全委員より承認を得る。

(4) 創立100周年記念事業の動向について

令和7年度に創立100周年を迎えるにあたり、創立100周年記念事業実行委員会を立ち上げ、記念式典、記念事業について計画を立案していることや、キャッチコピーやロゴマークの決定内容などを説明。(情報提供)

(5) 第3回学校運営協議会の日取りについて

令和7年2月13日(木)に課題研究発表会と組合せて開催する。

6 会議のまとめ

- ・社会人として通用できる人材育成を引き続き継続する。特に3年生については気を引き締めるように注意喚起していく。
- ・アンケート項目の見直しについては、学校独自で設定できる部分もあるが、そうでない部分については県と相談し改善できるよう努めていく。
- ・今後行われる行事等の事前予告の情報発信については、精選しながら行えるように教員に伝達する。
- ・本協議会で得られた意見をふまえ、今後の教育を推進する。